



「こんな篠路が良い」

- 顔見知りの多いまち
- 子どももお年寄りも元気
- 自然に集まれる居場所のあるまち
- 子供たちが学べるまち

- キレイ、ごみのおちていないまち

- 母親が気軽に仕事復帰できるまち

子育て

- こどもから大人まで運動会
- 若者とベテランの交流
- おばあちゃん、おじいちゃんの昔遊び講座
- しのろ版キッズニア(後継者不足の解消モデルを篠路でつくる)

- 町内で清掃、クリーンウォーキング
- 雪あかりの路、ランターン(今年こそ!台湾風)
- 花畑を色々、花畑迷路

- まち歩きオリエンテーリング
- 自然名所旧跡を巡るフットパス
- 篠路の歴史を楽しみたい
- 伝統文化を伝えるワークショップ
- 商店街のれん街、フリーマーケット、手づくり市
- 若いアーティストのアートマーケット
- 駅前でもちづくり屋台村
- カフェゾーン

「やってみたい活動」

交流
多世代交流

子供

景観・美観

歴史文化

にぎわい

- 健康、アレルギー対応の勉強の場
- ひそかな才能を発表する場

健康
発表

- しのろ鍋、しのろごぼう、札幌白ごぼう
- 巨大な「しのろまんじゅう」をつくる
- 篠路ギネスに挑戦
- 篠路の地場の食材をブランド化(銀杏、たまねぎ、篠路カレー)
- 篠路の地場の食材をブランド化
- 地場産業との連携(木田製粉など)
- しのろメタバース
- しのろの日をつくる

ブランディング

今後の取組についての
様々なアイデア

- 地域の象徴的なものを活かせるとよい
- 意見交換を楽しめる人の勉強会(ファシリテーター養成講座)からまちづくり活動の参加に繋げてはどうか?
- 観光客も巻き込む(雪まつりと併せる)
- 住みたくするには、まちに直接的なメリットがあることが重要

- 倉庫活用
- シャッター店舗のマンスリー活用

取組の視点

【シノロリビング】

- 小さな取組と大きな取組は分けて考える。「できることから」が重要、シノロリビングから育てていく
- シノロリビングを成功体験を積み重ねる場(キッカケ)とする
- 食を中心に音楽等のコンテンツを掛け合わせる
- 雰囲気も大事
- 季節ごとの実施
- 新たなブース(工作コーナー、勉強コーナーなど)

【情報発信】

- すぐにできることとして篠路の魅力を見つけ発信する
- しのろ限定のHP、アプリ、LINEなどを
作って住民がチェックできるようにする

次年度の取組に
関する具体的な
アクション

- 対話(meeting)の機会を継続
- 自分事とすることが重要、やりたいことのほか、できることを持ち寄る視点があってもよい
- 楽しさや人の繋がりで動く視点もあると、徐々に輪が広がる
- 会話の場を楽しむことも重要
- シノロリビングや他のまちで地域主体で活性化を図った成功事例を知る →各自、良い取組事例があれば“お土産”として持ち寄る。
- 地場のお菓子を用意!(喜久屋製菓など)

オープンミーティング
の進め方